大正時代の都市の暮らしと大衆文化

都市の暮らしはどのように変わり、文化はなぜ多くの人に広がったのか

なぜ広がったのか

A 教育が広まる

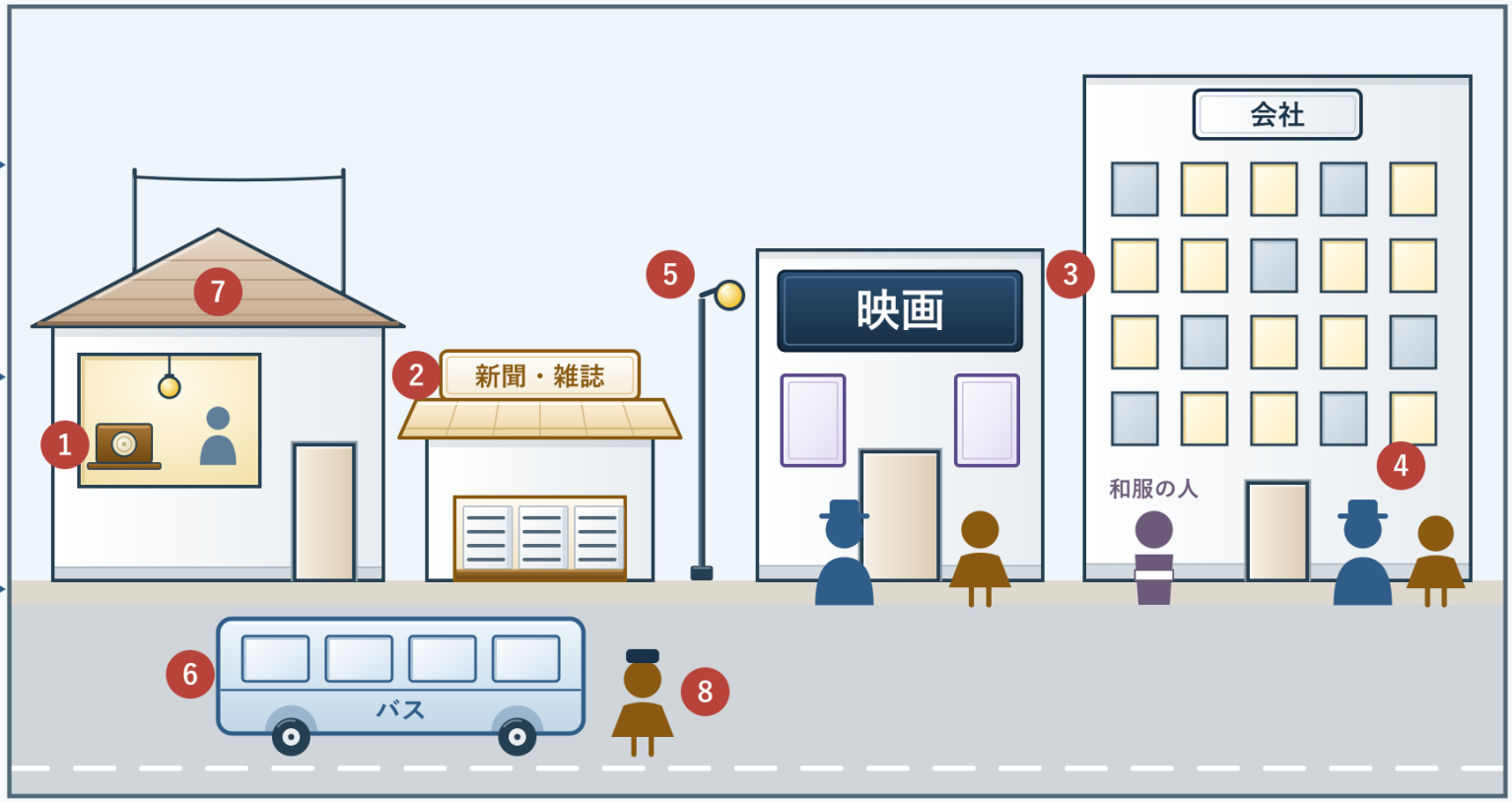
小学校に通う子がふえ、
字を読める人がふえた

B 都市に人が集まる

会社や工場で働く人が
ふえ、町が大きくなった

C 新しいメディア

新聞・雑誌が多く出され、
ラジオ放送も始まった



大衆文化

新聞・雑誌・ラジオ・映画で、
多くの人が同じ情報や
楽しみにふれるように
なった文化

1. ラジオ放送：1925年に始まる
2. 新聞・雑誌：多くの人が読む
3. 映画：町の楽しみになる
4. 洋服：会社員や若い女性に
5. 電灯：家や町を明るくする
6. バス：町の中を走る
7. 文化住宅：洋風の部屋のある家
8. 働く女性：バスの車掌など

くらべると：農村

多くの人は農村に住み、
暮らしの変化は
ゆるやかだった



※ 特定の町の復元ではない模式図。建物や服装は当時の都市の例で、和服の人もまだ多かった。